



いざという時は、 窓からの脱出もあります

東日本大震災では日立市も震度6強で、市民全般困難な生活を余儀なくされました。当時は、利用者の誘導に夢中でしたが、日立市子どもすくすくセンターでは、日頃の訓練の成果にてスムーズに安全な場所で待機し、次第に停電、信号機も止まったので明るいうちに帰宅して頂きました。写真は、地震を想定した建物から離れた場所への避難訓練の風景です。今後、利用者を守りつつ、地域住民と助け合い、協力連携がとれるよう準備したいと思いました。

本間 淳子（茨城県）